



湘南 **にのみや**

息もピッタリ、上手に踊れたよ！
(みちる愛児園の園児・9/30敬老のつどいより)

議会だより

平成22年9月定例会 9/3~9/27

任期最後の議会

- ◆決算に対する総括質疑に3議員…………… 2~3P
- ◆議員提出議案・条例改正の結果は…………… 7P
- ◆一般質問で8議員が町政をただす…………… 9~12P
- ◆21年度の予算審査意見を追跡…………… 13P
- ◆この人紹介…………… 14P

12月定例会のお知らせ

12月15日(水)から開会の予定
本会議・委員会の傍聴できますーお気軽にどうぞー

任期最後の議会
21年度の決算をただす

総括質疑

いかに進める行政改革 有害鳥獣対策はどうする

井上良光
議員

井上 町でも産業の低迷、少子高齢化、社会保障や医療費の増大、地方分権のさらなる進展な



ど、町行政を取り巻く環境は厳しい状況である。集中改革プランを策定し、行政改革を進めてきたが、その成果や問題点をどのように捉え、今後どう推進していくのか。

全職員が改革意識で推進

町長 行政内部での見直しを行い、事務事業の再編・整理、民間委託の推進、定員管理および給与の適正化、経費節減を図るなど一定の成果を収め

根岸ゆき子
議員



ごみ広域化負担は最低限に！ ブランド戦略は発信力を！

た。しかし依然として厳しい状況にあり、町民ニーズの多様化、高度化など、新たな課題に対しても迅速に対応するため、今後も継続的に改革に取り組む。新たに二宮町行政改革推進計画を策定し、全職員が改革意識をもって推進していく。

化、荒廃農地の増加、里山の自然環境の悪化による有害鳥獣の農作物への被害増加など、農業環境のさまざまな分野で問題が発生している。とりわけ有害鳥獣は農家の生産意欲をそいでいる。この対策をどう考えているのか、また丘陵地にある農地のため、生産性も悪い。引き続き農道整備を要望したいが考えを問う。

積極的に対策を講じる

町長 町では有害鳥獣対策は平成20年よりイノシシの捕獲わなの設置を始め、本年度は二宮有害鳥獣対策協議会を立ち上げ

た。来年度はオリやわなを大幅に増やす。また農道は地域に合った小規模な整備で今後も取り組ん



キケンの字が読めないイノシシ
捕獲オリの増設を

で行く。(他に子育て支援策、防災対策について質問)

理、剪定枝処理、不燃物処理の3つであると新聞報道された。具体的な方法はどこまで想定しているのか。また分別収集体制への影響を懸念するが如何か。

広域参入をお願いする 立場で主張はできない

町長 1市2町のごみ処理広域化推進会議を正式に立ち上げ、職員1名を

根岸 坂本町長1期目、最後の決算として、4年間の取り組みの特徴的なものから2点を質問する。3月末に広域化に関する覚書きを締結した。二宮町の分担はリサイクル処



ブランド品も並びます。皆さまご利用下さい
観光協会のアンテナショップ（駅前町民会館）

平塚市に派遣した。実施計画策定は日本環境衛生センターに業務委託した。不燃物処理については最終処分場の確保ではなく、屋根の下で破砕機処理すれば再利用できるという考えもある。とにかくまだ何も決定していない段階だ。協定締結以前に情報は伝えたい。

0万円の補助金は全国商工会からの補助金活用で決算ゼロ計上となったが町の関わりは欠かせない。町民参加で作った商品を町長のトップセールスで売り込み、停滞期を作らない方がよいのではないか。

城所 昨年の9月議会で基金を活用して「国保税を年1万円引き下げよ」と要求した。結果、国保基金から5千万円、資産割額を26%から16%に下

城所 努
議員

基金を活用し国保税下げよ 国立小児病院跡地の活用を！

げ、一世帯約1万5千円引き下げられた。現在、国保基金に約1億3千万円ある。基金5千万円を充てれば一世帯1万円の引き下げが可能だ。

現金1万円還付どうか

町長 一度引き下げて、また増税になったら国保加入者はどう思うか。提案は分かるので検討する。逆提案するが1万円を現金で還付したらどうか。城所 医療費増で値上げの年もあるかもしれないが、基金に余裕があるときは決断すべきだ。1万円の還付は条例改



正や基金からの繰入れが正規な方法だ。引き下げの英断に期待する。次の質問は、旧国立小児病院跡地の活用だが、この土地は(仮称)子どもの館用地として、平成15年度に面積1万538㎡を3億4千4百万円で町開発公社が当時の厚生省から購入した。坂本町長は「子どもの館建設は約10億円もかかるので凍結する」とし、この案は破綻した。多額な税が投入されており、跡地の活用を図るべきだ。



利活用が待たれる国立小児病院跡地

早急に方向性見いだす

町長 山西地区の活性化や漁港背後地として活用する構想もあったが、今後は検討委員会を設置して方向性を見出したい。城所 跡地の自然を生かし、子どもたちが外で伸び伸び遊べる子育てサロンと印鑑証明などが取れるサービスマジックな施設で十分ではないか。町長 様々な方面で利用できる事業展開が必要だと思う。早く計画を示すようにする。

平成21年度

決算審査

新給食センターの建設、小児医療費の無料化拡充、栄通り子育てサロンや山西学童保育の拡充等を評価。公共施設使用料の値上げ、福祉手当減に批判

平成21年度各会計別決算総括表及び本会議採決結果 (千円未満四捨五入)

会計名	歳入	歳出	本会議採決結果
一般会計	79億1,438万1千円	75億8,367万5千円	11対2で認定
国民健康保険特別会計	33億6,932万3千円	32億9,413万8千円	11対2で認定
老人保健医療特別会計	2,131万6千円	1,598万6千円	全会一致で認定
後期高齢者医療特別会計	5億6,807万3千円	5億4,093万4千円	11対2で認定
介護保険特別会計	18億7,108万4千円	17億9,588万4千円	11対2で認定
下水道事業特別会計	9億8,057万3千円	9億5,018万5千円	全会一致で認定
計	147億2,475万0千円	141億8,080万2千円	

9月定例議会は、平成21年度決算審議を中心に9月3日から9月27日まで開かれた。議案は平成22年度各会計の補正予算、条例改正7件、規約変更1件、契約1件、請願3件、陳情6件、人事案件2件、議員提出議案1件を審議した。

農道の拡幅で農業振興が計られる



平成21年度決算に係る早期健全化判断結果

健全化判断項目	平成21年度結果	早期健全化基準
① 実質赤字比率	該当なし	14.71%
② 連結実質赤字比率	該当なし	19.71%
③ 実質公債費比率	5.6%	25%
④ 将来負担比率	113.4%	350%
⑤ 資金不足比率	該当なし	20%

決算審査特別委員会は、決算書・説明資料・監査審査意見書等をもとに4日間の審議と中里農道整備事業と新学校給食センターの視察を行い、町内6箇所取り付けの防犯カメラの説明も受けた。委員会の構成は次の通り。

☆委員長 杉崎俊雄
 ☆副委員長 二見泰弘
 ☆委員 小笠原陶子 三橋智子 城所努
 池田宏、原富士徳

◆討論・表決
 決算審査の結果は、城所委員が一般会計、国保会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計に反対討論、池田、小笠原委員が6会計の賛成討論を行った。

27日の本会議で、城所努、神保順子、松木義明、原富士徳の各議員が討論を行い、上記の採決結果になった。

審査意見

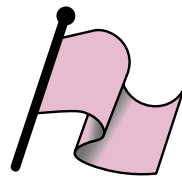
- ① 各種委員会や協議会などの議事録は、速やかにホームページ等に公開されたい。
- ② 救急救命士の充実・強化を図るため、定年退職者の再任用を検討されたい。
- ③ 近年多発する集中豪雨の対策強化を図りたい。
- ④ 健康診査事業の受診率向上に努力されたい。
- ⑤ 太陽光発電の有効性を認識し、公共施設にも広げるよう努められたい。
- ⑥ 農道改良事業は、農業振興のため観光農園などを計画的に進められたい。
- ⑦ 図書未返却者対策を強化すると共に、図書購入費は現状を維持されたい。

財政健全化判断 比率による町の 財政指標は健全

平成20年度から議会に報告等公表することが義務付けられている健全化判断比率の指標が、早期健全化の基準を下回り、財政は「健全」と示された。

城所 努議員

公共施設使用料引上げと障がい者に冷たい決算



納税者の平均収入は4年前519万円が平成21年度は511万円で約8万円も減収だ。こうした中、町は「適正な受益者負担」として、町公共施設の使用料を引き上げと町外格差を導入した。しかし、町外格差は今議会で撤廃し、見通しの甘さと住民負担を強いた。社会福祉センターの使用料を条例違反を知りな

決算に対する討論

9/27
本会議

がら、長期間、老人クラブ室などの使用料を徴収してきたことも指摘する。年額わずかな障がい者福祉手当を50%もカット。一方、介護認定委員の医師には日額五千円も増額し、弱者に冷たく医師会には恩情の姿勢は納得出来ない。

町遊休地の売却で約4千2百万円予算化したが、未執行になり認識の甘さ・努力不足を指摘する。健康診査事業で大腸ガン、乳ガン、肺ガンが発



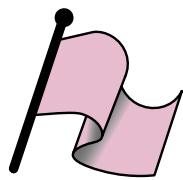
図書館の書籍などは町民の財産
マナーを守って借りましょう

見され、この事業の重要性が認識された。受診率の向上を強く求める。図書館の貸し出し書籍等の未返還に強い姿勢で臨む事を求める。ただ、小児医療費の無料化を小学3年生生まで拡充、議会テレビ放映の予算化などは評価する。

国保特別会計は、加入世帯が負担増で未納額も増加している。国保基金の活用を求めて反対。後期高齢者医療と介護保険の2会計も反対する。

神保 順子議員

情報公開と環境・福祉・教育に提案をして賛成



21年度はラディアン裏用地取得のための事業また新学校給食センター整備事業、新ごみ積み替え施設整備事業など、大きな事業を抱えたなかで、各担当課は限られた予算



元気していると
本人も幸せ 町も幸せ

枠で町民のために努力しながら事業を進めたことを評価する。

町民への情報提供や公開に関して、各委員会などのお知らせや傍聴の呼びかけ、また実施後の議事録を速やかに公開するなど「協働のまちづくり」をすすめて頂きたい。

高齢化がすすみ、高齢者福祉にかかる費用は年々増加しているなかで、少ない職員数でのやりくりだったと考える。今後、要介護者を増やさないと高年齢者にとつても、町にとつても最良であることから、さらなる介護

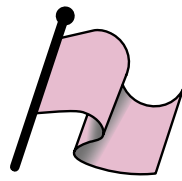
予防事業参加への周知と普及に努め、充実と継続を望む。

2度にわたって全家庭に配布された水切りネットの効果も、継続して検証することが必要である。また不法投棄処理の費用増額に対し、町民へのごみ分別へのさらなる普及活動が必要である。

21年度の小・中学校での不登校者数は31名と報告されたが、実際の数は相当数いるものと考えられる。子ども達への十分な支援措置と子ども達を支える教職員の心身の健康管理への充実を願う。

松木 義明議員

安定した財政運営に期待 防災等広域行政の推進を評価



平成21年度一般会計及び5特別会計の歳入歳出決算の認定に賛成する。
町監査委員の報告では、財政全般については、財政健全化計画に基づき監査され各事業は健全性が保たれているとある。
歳入面では長びく経済不況が、基幹財源の税収に顕著に表われている。生産年齢人口の減少も相まって増収は見込め



新設の子育てサロンでは
ふれあいトークが開催された

ず、予断は許されない。税の公平性と滞納者へ積極的な納税へのアプローチと不納欠損の減少に努めてほしい。(仮称)多目的広場用地取得事業については、風致公園用地等の取得には将来の見通しの上で常に安定した財政運営に期待する。
広域行政の充実から小田原市との災害時相互援助協定を締結するなど積極的に推進された。
歳出面では、一色防災コミュニケーションセンター

の竣工により地域の防災拠点、地域交流がはかられた。子育て関係では、一時停止していた児童遊園地遊具等の更新工事で復活され、栄通りには町内2か所目の子育てサロンも開設され親子間の交流をはじめ高齢者との世代間交流の場が提供された。
ごみ積替施設について実施設計も終了建設工事に着手ごみ搬出に期待される。国民健康保険特別会計他5特別会計は、認定すべきと考え賛成する。

総額約147億2千400万円を持って執行された、平成21年度各事業は監査委員報告にも在るように、小規模ながら町民の要望を満たし、健全な運営が行われたことを示している。
一般会計約75億8千300万円の中で財政規模が小さいことから経常経費率の高さは否めず投資的経費を圧迫している。
町民の安全を確保するために町内6箇所を設置された防犯カメラの設置は災害時の情報収集など多方面の利用も可能で今後に期待できる。一色防災コミュニケーションセンターの建設は21年度工事費約3000万円をもって建設され、一色地区の防災力向上と共に地域活動の中心施設にもなっている。
少子化児童対策として

防災・子育て支援・高齢者 対策の充実を評価



原 富士徳議員

は栄通り子育てサロン・山西学童保育施設増設・小児医療費助成制度などを積極的にいき子育て世帯の支援、高齢者・障がい者対策など積極的に行ったことを評価し一般会計決算に賛成する。
特別会計では後期高齢者医療広域連合の組織の在り方を再検討することを要望し賛成。
下水道特別会計は使用量が減少する中で収支の悪化が予想され県下水道事業も計画の見直しが行われている、慎重な事業執行を望み賛成。



防犯カメラで町民の安全を見守る

議会で決まってきたこと

議員提出議案

議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例

議員提出議案で、12月の期末手当の支給率を変更するもの。「100分の255」を「100分の230」とし、0・25ヶ月の減額となる。社会情勢に合わせたもので全会一致で可決。

ごみ積替施設建設 工事請負契約を可決

ごみの外部搬出に伴い必要な施設で、入札は6社の申込みがあったが、最終的には4社から入札があり、(株)ピーエス三菱が1億6千516万5千円(税込)で落札。

境界の確定は、隣接する関係者と松根・富士見が丘に説明は。

まだ一人出来ていないが工事は進める。また説明会も行っていく。

補正 予算

一般会計

工期と環境測定は？
答 本日から約1年間である。測定は行う予定。

大磯の一部も対象か。
答 二宮だけのごみが対象である。

条例の一部を改正する 条例は全会一致で可決

職員の勤務時間、
休暇等と育児休業等に関する条例

育児休業法の改正に基づき、男性の育児参加を促す目的などによって育児休業の取得要件が緩和された。超過勤務の免除や再度の育児休業が取得できるようになる。

職員の給与に関する条例

生命保険料や互助会費などの福利厚生費を、給与から天引きしていたことを、条例に位置づけるもの。

町内・外の料金格差解消のための町営水泳プールと体育施設に関する条例

平成21年度に利用料金を改正し、町内・町外の利用料に差をつけたが、今回の改正によって同一料金に変更するためのもの。

消防団員等公務災害補償 条例

非常勤消防団員等の公務災害時にかかる補償についての変更。また児童手当法の改正により父子家庭へも児童手当が支給されることになった。

神奈川県後期高齢者 医療広域連合規約 の変更

広域連合経費の市町村負担金のうち、共通経費の均等割の負担割合が100分の10から100分の5に変更になった。これにより町の負担は312万円の減額となる。

1億円を基金に
1億4千986万7千円を追加する補正予算。
歳入の主なものは、地方交付税が1億4千480万円、児童手当及び子ども手当特別交付金570万円、障がい者自立支援対策臨時特別交付金584万円、緊急雇用創出事業補助金978万円、前年度繰越金5千454万円の増額が主な内容。

歳出の主なものは、財政調整基金に1億円積立て、財産台帳作成委託料864万円、愛の家かなな作業所改修に584万円、新型インフルエンザ対策事業379万円と予備費に1千626万円を増額する内容。

交付税増額の理由は、一人当たりの住民税が15万円から13万円に下がったのが要因。

かななの家の改修内容は。

管理は町社協で相談室やトイレ等を改修する。

財産台帳の作成内容

について詳しい説明を。
答 町有財産すべてを洗い出して、整理・分類化し台帳を整備(データベース化)する内容で2カ年継続の事業。

4会計も 全会一致で可決

国民健康保険特別会計

歳入は、療養給付費の過年度分2千170万円と前年度繰越金4千18万円の増額が主な内容。

歳出は、財政調整基金に3千300万円積立て、国庫支出金の返還金1千681万円、予備費に514万円を増額する内容。

後期高齢者医療特別会計

前年度の繰越金2千563万8千円の歳入を、広域連合納付金として1千127万円、一般会計に651万円を戻し、予備費に784万増額するもの。

介護保険特別会計

歳入は、県支出金の介護給付費負担金457万

円と前年度繰越金7千419万円の2件。
歳出は、高額医療合算介護サービス費689万円、基金積立てに4千887万円、一般会計に1千265万円を戻す内容。

下水道事業特別会計

前年度の繰越金1千38万7千円を町債償還利子281万円減額し、予備費に1千408万円増額した内容。

人事

教育委員会委員に 飯塚富美氏

教育委員会委員、桐生芳江氏の任期満了により、飯塚富美氏を任命するために議会の同意を求められ、全会一致で同意した。

平塚市在住で42歳。任期は4年。

人権擁護委員の推薦に同意

人権擁護委員の推薦について意見を求められ、添田廣一氏を全会一致で同意した。

添田氏は、山西在住で60歳。任期は3年。

請願は？

3 請願とも提出者は町在住の田口謙吉氏
「地方議員年金の廃止を求める意見書」の提出を

求める請願

内容は、町議会として「でない」、反対討論として「地方議員年金制度廃止を求め、早くに廃止の結論を出すことを求めるもの。賛成討論として「これ以上の税金は投入すべき」となっている。

二宮町議会の一般質問・総括質疑の方法に関する

請願

内容は、一般質問・総括質疑の方法を一問一答・質問時間制限・執行者の反問権制度の導入を求めるもの。賛成討論として「方向性が一緒なのだから願いが一つになった。」

議会全員協議会を公開することを求める請願

内容は、議会全員協議会の公開・傍聴を求めるもの。「報告内容の一人歩きを避けるべき。検討課題である。」

賛成討論として「慎重な情報以外原則公開すべき」、反対討論として

陳情は どうなった？

「核密約」を破棄し、非核3原則の厳守を求める意見書採択の陳情

不採択

提出者は原水爆禁止神奈川県協議会他2団体。内容は今年3月、政府は「核密約」を認めたのだから、直ちにこれを破棄し、非核3原則の厳守を求めるもの。

不採択の討論として

「調査結果をもとに十分な検証を求めている段階であり、時期尚早」、採択の討論として「非核3原則に反する核密約は即刻破棄すべきである。」

委員会では4対2、本会議では8対5で不採択となった。

永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出を求める陳情

趣旨採択

憲法違反の外国人参政権による選挙を実施しないことに関する陳情

提出者は相模原市の井上朋子氏。内容は永住外国人への参政権付与は、憲法違反になるので認めるべきでなく、法制化の反対を求めるもの。

趣旨採択の討論として「外国人参政権付与は内政干渉になるが、国会での議論が妥当」、不採択の討論として「国際化の中で外国人参政権付与は当然の権利。憲法違反に当たらない。」

両陳情とも、委員会では4対2、本会議では7対6で趣旨採択となった。

保育制度改革に関する意見書提出を求める陳情

趣旨採択

提出者は公的保育制度を守り拡充する神奈川県実行委員会。内容は、制度改革は規制緩和を進め保育の質の低下が懸念されるので、

提出者は「神奈川県私学助成をすすめる会」

採択

内容は神奈川県私学助成額は近隣でもっとも

国に意見書の提出を求めるもの。

趣旨採択の討論として「待機児童対策のためにも時代にあった改革は必要」、採択の討論として、「安定した保育の保障を国に要求するべき。」

委員会では4対2、本会議では8対5で趣旨採択となった。



未来の宝を育む 保育制度改革が望まれる

国に私学助成予算の削減に反対し増額を求める陳情

神奈川県に私学補助金の増額と、緊急支援の対象世帯の拡大、補助額拡充を求める陳情

高く、なおかつ支援金は最低レベル。私学助成の増額を求めるもの。

賛成討論として「景気の好転が見込まれない中、急増する就学困難な家庭への支援拡充は必要」、不採択の討論として「私学助成は予算が急増している。実態も確認できない。」

両陳情とも、委員会では5対1、本会議では12対1で採択となった。

9月15日の本会議では、傍聴者が見守る中、8名の議員が町民の身近な問題12件を行政側に質問した。ここでは各人の質問要旨を掲載する。この記事は本人の原稿提出に基づいて掲載したもの。



健全化判断比率

二宮町財政の現状と将来の 財政予測を問う

二見 泰弘議員

取得(18億円)など、二宮町2009年度起債額の約2.5倍にあたる町債を発行する。年度末残高は「過去最大に膨れ上がるが、町有財産は将来にわたり負担を分け合う」と掲載されたが、財政の現状と将来の財政を伺う。

健全財政である

町長 今年度はラディアンの裏の風致公園整備用地を前倒しして購入する特殊要素があり、予算96億1千万円となり、国の安全指標をクリアしており、健全財政である。

買収用地の返済計画は

総務部長 ラディアン裏用地の起債の関係は、約10億3千万円借り入れ、利息を入れて約12億8千万円になり、20年の償還期間中に交付税6億8千万円が参入され、差

し引くと6億7百万円になり、毎年3千万円の返済になる。この内法務局

からの賃貸料1千2百万円と駐車場収入が3百万円で、これを差し引くと、毎年1千5百万円の負担で済むことになる。
二見 財政調整基金の理想額はどれくらいか。
総務部長 一般会計の5%約3億5千万円が理想。(他に長期財政計画についてを質問)

平和市長会議への加盟求める 学童保育の早朝開設を！

鳥海 恭子議員

平和への祈りをこめ
千羽鶴は約8万羽寄せられた



鳥海 平和市長会議は核兵器廃絶を求めて県内14市2町が加盟している。今年にはガラスのうさぎ建立から30周年の記念の年、加盟すべきだ。

加盟は時期早尚と思う

町長 節目の年だけでなく恒常的に8月に千羽鶴を飾る。保土ヶ谷の富士見台小から2千羽の鶴が届いたのを後で知った。民間主導で南口商店街な

どに声をかけ、行政も後押しする。
加盟は時期早尚と思う。

鳥海 広域の1市4町1村の1泊2日のキャンプと生きる力の相乗効果はどうか。定員10名を増やすことはできないか。

教育長 生きる力は社会福祉体験、老人介護学習や川の清掃活動など、多くの体験学習をしている。

教育次長 町内の小学6年生を対象に毎年2泊3日にキャンプを実施。3校合同の交流が非常に有意義と思っている。

鳥海 親の出勤が早い家庭のために学童保育の早朝開設を求めたい。

早朝開設は多くの課題

健康福祉部長 子育て中の女性の働く人数は増加している。アンケート調査でも就労中の小学生を持つ母親は6割を超える。町の3小学校に併設の学童保育は公設民営で保護者会の運営だ。早朝保育は多くの課題がある。

ニーズ調査、保護者会の意見など、今後の方向を検討していきたい。
鳥海 早朝開設を望む。

校庭の芝生化に伴う 校庭開放を問う

池田 宏議員

芝生化を実施の予定

池田 校庭の芝生化の見
通し、教育の一環として
の取り組み、芝生の維持
管理およびボランティア
の確保の方法を問う。



順調に育った芝を2.5cmに刈りそろえる
(二宮小)

約100㎡で試験を行っ
た。猛暑でも順調に生育
している。校庭の芝生化
を実施する場合は、全面
かトラックを除いた部分
にするか等、学校と調整
し実施する。教育への取
り組みは、生きた環境教
育の教材として使用す
る。維持管理は新たな組
織作りが必要である。

域の方々に協力を求める
池田 校庭開放の実現に
向け今後の取組みを問う。

開放は見守りが必要

教育長 開放の場合は安
全管理が一番の問題だ。
特に、子どもたちだけの
場合は新たな見守り組織
作りが必要だ。

教育総務課長 校庭開放
は教育活動の一環であ
り、地域交流の場でもあ
る。見守り組織作りは、
アンケート調査などして
新たな組織作りを行う。

池田 校庭開放は、最近
多くの学校で芝生化を契
機に取り組んでいる。当
町でも早期の実現を望む。



ごみ分別収集の計画は広域化復帰と共に
検討が必要

原 町民の多くは町の進
めるゴミ分別収集計画に
協力し古紙類、金属アル
ミ類、樹脂、ペットボトル、
ビン類などに分類しゴミ
を出している。

結果、二宮町は県下で
鎌倉市に次ぐ資源化率の
高い町だと報告している
が集められた資源物の処
分方法が適切ではない。

県下33団体で二宮町だ
けが容器包装リサイクル
法の枠外で、有価廃棄物
の処理を行っているが容
り法の特徴は製造者に容
器の処理費の一部を負担
させることが出来る事と、
売払い価格が明確になる
ことだ。売払い価格の前
年度実績を基に試算すれ
ば古紙類を除き現在の

町民の協力を無駄にしない 処理方法で税外収入の拡大を

原 富士徳議員

460万円から1500
万円になる。

二宮町では処理費全額
を町で支払い製造者の負
担を求めない町だが、容
り協会の方法を導入する
考えは無いのか。

**結果は出ていないが何
も心配する必要は無い**

町長 ゴミ処理広域化復
帰後、平塚・大磯と共に
容り法になるのか、一部
容り法になるのか広域の
決定に従い行う。

原 平塚市がゴミ処理建
設と建設後20年間の長期
管理契約を締結したが、
その内容は参加自治体にも
影響する。二宮町はその
内容をどの様に判断す
るのか。

町長 平塚市を信頼し全
てを委ねる事が必要だ。
(他に教材費・公共施設利
用に関し質問)

一般質問

環境部長 ボランティアの制度化は難しいものがあるが、自由意志を尊重して、町が後方支援している。ごみ減量化で発足した「地域環境推進員」の方から町のパイプ役として地域向上に活動したいとの要請があり、協働の観点から活躍できるように今後検討していきたい。都市経済部長 公園愛護会は5団体に増えて約130名が登録されている。



美化活動で地域の活性をはかりたい

協働の活動を積極的に紹介し住民に広げたい

三橋 協働のまちづくり推進のため、1つの方法として、2年前にアダプト制度（一定の公共の場所を住民が積極的に美化清掃を行い、行政はその支援をする）を提案したが、その後の進捗状況はどうか。

三橋 協働の推進には、行政の「調整力」が求められる。全職員が協働の意識を持ち、町民をリードする力をつけることが大切であるが、その体制

は整っているのか。町民生活部長 町民協働班の中で、協働が根付く体制作りを検討したい。職員の意識付けも議論を重ねていく。三橋 点在する住民の「頑張り」を、結びつけて広げることが地域力再生に繋がるので、町の積極的な行動を期待する。

地域コミュニティの再生に繋がる、協働の推進を問う

三橋 智子議員

子育てしやすい町をアピールし、人口増はかれ！

小笠原 陶子議員

小笠原 町は人口減少が続いている。子育て環境は他市町に負けない。ただニーズに合った一時保育だけが足りない。設置を急いでほしい。また、今までの作り、培ってきた二宮町の子育て環境整備、ラディアンの児童図書コー

情報発信に努力する

健康福祉部長 一時保育は、次世代育成支援行動計画の重点施策で位置付けている。実現に向け検討して行く。情報発信は重要と考え、昼間の子育てふれあいトークや携帯電話でメール配信している。今後町外の方には県の情報サイトの登録を、受けての立場に立つて取り組みたい。

一時保育5年以内に

福祉課長 一時保育は計画に5年以内に設置と明記している。各保育園とも、待機児童こそないが、ぎりぎりの定員である。公立保育園でテストケースとして始めていく。小笠原 一時保育は親のレスパイト（リフレッシュ）だけでなく、就労支援にもなっている。なるべく早く実施せよ。



子ども達に人気の絵本がいっぱい
若いママに好評

川勾地区の行政境における 町道整備と拡幅を問う

松木 義明議員

松木 私の住んでいる川勾地域を紹介するとき、一歩または二宮原市、一歩下がれば二宮町と話している。用途地域は二宮町が調整区域で小田原市は市街化区域である。そこには町道38号線という二宮町が管理する



小田原市との協議が必要な町道38号線の拡幅

道路が、国道から分岐している幹線道路から分かれて入川勾から通川勾に通じている。途中に小田原市中村原地域がある。まさに行政境の町道である。入川勾から幅員5mで小田原市中村原まで通じている。この中村原地域から通川勾を通って国道にでるのが問題になる幅員2.5m道路である。この拡幅には小田原市との協議も必要だ。

また、川勾神社西側宇若宮、地元は「奥ヶ入」で小田原市は平成4年9月に団体畜産環境整備事業で農地と農道を整備した。その農道は現況4.5mで、二宮町分は2mだ。町道と農道の拡幅の見直しはどうか。

防災協定を結んだ 問題点を話し合いたい

町長 小田原市長とは防災協定を結んだ。今後、問題点を双方で話し合うことで約束した。その問題も当てはまるので前向きに進むと思う。

松木 せめて救急車、消防車それにゴミ収集車がスムーズに通れるような道路にしてほしい。

他に高齢者の所在不明、狭隘道路のセットバック後の登記問題を質問。



介護予防でイキイキ老後！
(ころばん塾)

健康福祉部長 介護予防の自主グループボランティアには出来る限りの手当をしていく。

配食サービスは 必要なら拡充していく

配食サービスは、単に食事や栄養の確保ではなく、安否確認のための見守り機能や疾病や介護予防の観点から高齢者にとって必要な事業と考え、また町が仲介することで高齢者にとって安心感を与えることが出来る。必要な人には補助をすればよい。利用しやすいように見直しをし、充実さ

高齢者福祉サービスの充実と 介護予防事業後のケアを

神保 順子議員

神保 町が行なう高齢者サービスのうち、独居・高齢者世帯が対象の配食サービスがある。配食数が減少しているが、調査からは「申請手続きが煩雑で面倒」「同じ味であるが大きい」などの要因があることが判った。しかし配食サービスは、単に

食事や栄養の確保ではなく、安否確認のための見守り機能や疾病や介護予防の観点から高齢者にとって必要な事業と考え、また町が仲介することで高齢者にとって安心感を与えることが出来る。必要な人には補助をすればよい。利用しやすいように見直しをし、充実さ

せる必要があるのではないか。また町は特定高齢者（検診で要支援・要介護に進む恐れのある人）と一般高齢者にむけて介護予防事業（ころばん塾）を行なっているが、介護予防は継続していかねれば事業の有効性は低い。今、ころばん塾卒業者とボランティア有志によって定期的に会場を借りて介護予防を行なっていると聞く。自主性を保つことは必要だが、継続していくには会場費や講師派遣など町がサポートしていく必要があると考えるが町の考えを伺う。

地球温暖化防止のため 環境対策の推進を！

「住宅用太陽光発電システム設置補助金」により一般家庭へ15件の普及を図った。また「水切りネット」の配布、二宮小学校の環境学習でエコ風

呂敷作り、環境フォーラム開催など、環境対策を推進した。今後、太陽光発電の普及と公共施設への設置が望まれる。



環境フォーラムで地球温暖化防止の啓発

国民健康保険税の 軽減策を検討されたい

22年度、国保基金から5千万円繰入れ、資産割税率を26%から16%へ下げた。また、均等割及び平等割の6割・4割軽減を7割・5割・2割軽減に拡大した。結果、1世帯で年間約1万5千円の軽減になった。

平成21年の3月会議で、議会が町に提出した「予算審査意見」を、その後どのように対処したか、追跡してみた。

予算の審査意見は どうなった？ 追跡

多目的広場用地(ラディアン裏) は町民の理解が得られる 将来構想に

横浜地方法務局に賃貸する用地、公園用地、多目的広場用地の土地利用を将来構想とし、基本計画を策定した。今後も町民への周知を図る必要がある。

吾妻山公園の再整備は、 景観に配慮し慎重に

園内の一部バリアフリー化、トイレ等の老朽施設の改修や魅力度の向上を目的として、景観に配慮し基本計画を策定した。22年度、予算9百万円で実施設計が策定される。

消防・救急活動を 円滑にするため、 組織の充実を図れ

21年度の消防職員は44名。また、救急救命士は9名で今後も計画的な増員が望まれる。

装備も地域活性化・経済危機対策臨時交付金の活用により資機材の更新・拡充を図った。



生命を守る救急救命士
資機材の更新で装備も整えられた

自主防災の充実を 図るため、必要な 指導・支援を！

災害時に備え防災指導の研修や防災訓練を実施した。「自助・互助」を基本にした防災意識の指導・支援に更なる努力が求められる。また、災害弱者の把握や救出など課題もある。

防災行政無線の 難聴地域解消に 努力せよ！

無線機器の保守点検で電波の受信状況やアンブ出力の状況及び親局と子局の音量調整により対策を講じたが、あまり改善されていない。

公共施設・道路等の修繕は、 年次計画で進めよ

道路修繕は危険性などを考慮して進めているが、22年度から公共施設課が新設され、公共施設の管理が強化された。

この人 紹介



ともしびショップ「なのはな」
で、ちょっと一息しませんか!

平田 光枝さん(69歳)
(富士見が丘1-10-7)

6月、テレビから流れる議会中継。障がいのある方の働く場として、ともしびショップの開設に向けての討論がされていました。突然店長のお話がありました。生半可な覚悟ではやってはいけません。一瞬も迷わず辞退いたしました。ともしびショップは福祉の店として障がい者の働く場を確保する上で極めて有効な手立ての一つであると賛同し、熱心な要請に負けて、「人生のお当番」のかな、と考えお手伝いをする事に致しました。店長という仕事の内容も理解していただき、中でも食にかかわる事は私のよく知る分野でもありました。



毎日、賑わっている大忙しの「なのはな」のランチタイム

障がいのある子を持つお母さん方を中心に、共に進める職員さんとの短期間にたくさん汗を流し、話し合い、ともしびショップ「なのはな」が8月23日開店をする事が出来ました。「感激」「なのはな」では障がいのある方(スタッフと呼

んでいます)3人が支援スタッフとともに協力しあい働いています。元氣よく、笑顔で「いらっしやいませ」とお客様をお迎えし、おもてなしの心で、お料理がお出し出来るよう日々努力しております。働く喜びや生きがいを見出してくれると信じています。ワンコインでお食事ができ、お店からの眺望も素敵です。従業員一同、皆様のご来店を心よりお待ちしております。

★ カメラルポ ★

美味になったよ!
新学校給食センターの調理風景



爽やかな秋、元氣よくお米の収穫を手伝う
(二宮めぐみ幼稚園の園児たち)

議会だより編集委員会
委員長 井上 良光
副委員長 城所 努
委員 神保 順子
委員 松本 義明
委員 根岸 ゆき子
委員 三橋 智子



本年の11月は議会議員の改選です。議会だより編集にあたっては、限られた紙面のなかで精一杯、読みやすく、親しまれるよう、工夫をしてみました。現メンバーでの編集は今号限りとなり、次号からは新メンバーで編集され、皆さんのお手元に届くこととなります。

編集室だより